

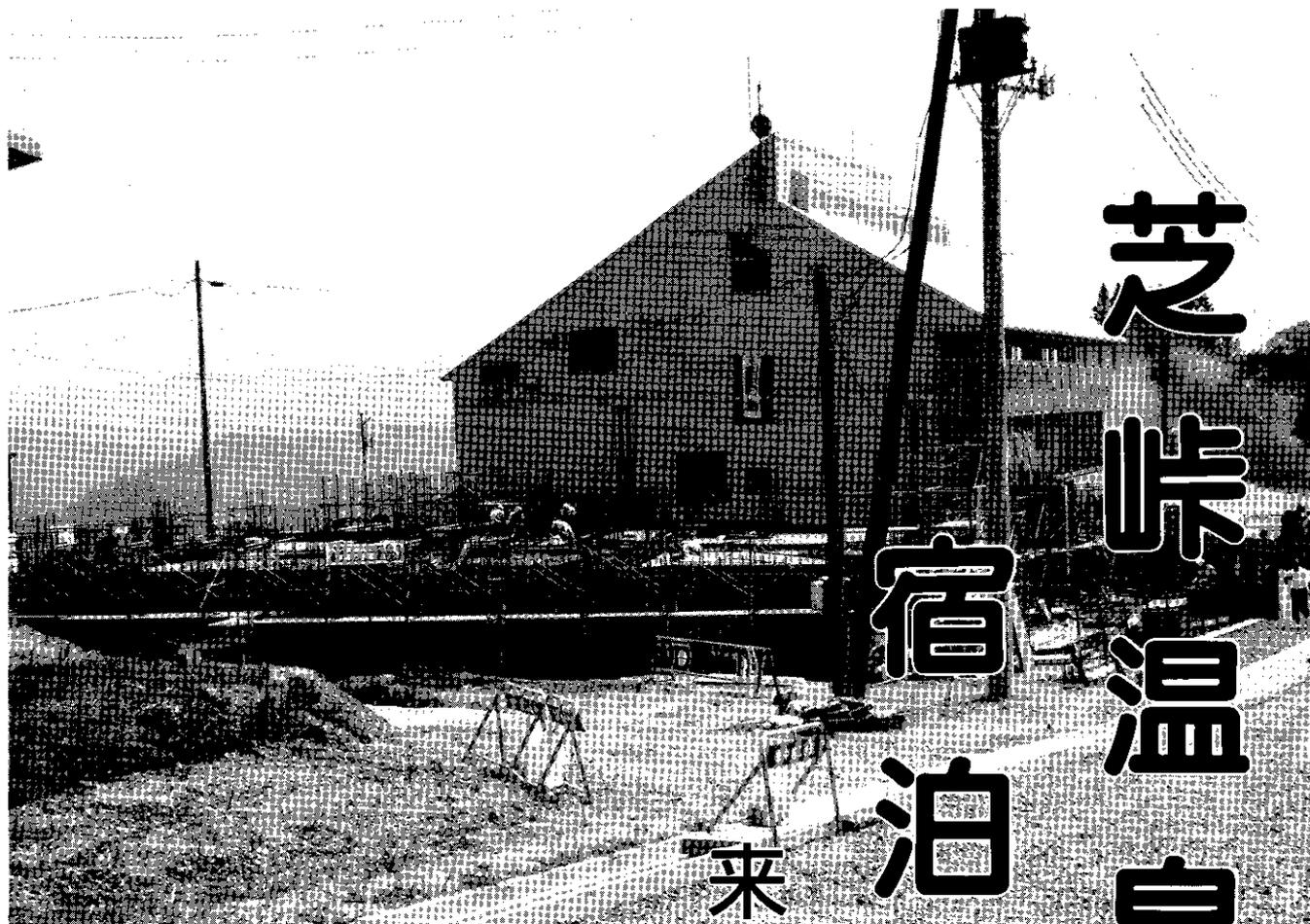


町の活気は祭りから

伝統の松代観音祭りが、今年も7月19日、20日の両日行われました。今年は天候にも恵まれ、19日の夜は大花火大会、20日は稚児行列、武者行列、松代小学校の児童による鼓笛隊など、たくさんの催し物が行われました。

主な内容

- 芝峠温泉に宿泊施設……………②
- 松代町交通安全宣言大会……………④
- 国際青年の村'92……………⑤
- みんなのトピックス……………⑧
- 東京発、文芸……………⑫⑬
- お知らせ……………⑭⑮



芝峠温泉に

宿泊施設

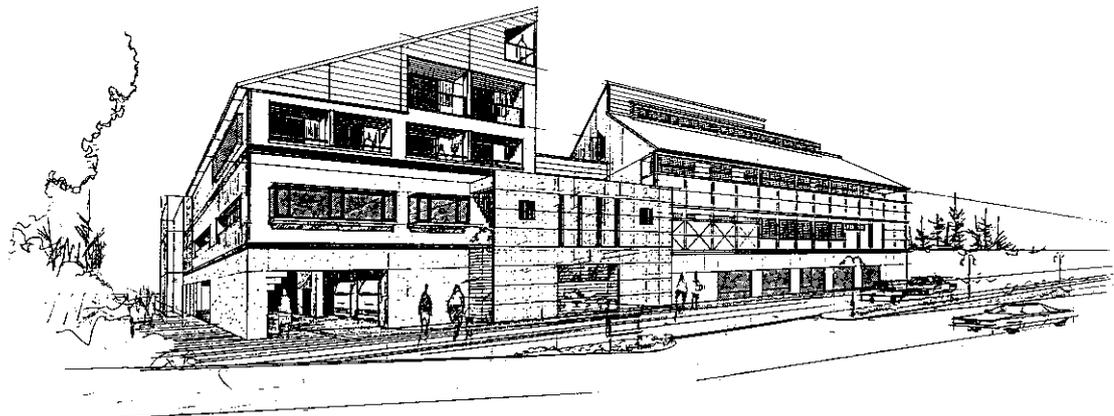
来年夏オープン

観光・レクリエーションの拠点として整備が進められている芝峠温泉に、待望の宿泊棟の建設が始まりました。また、昨年からの建設の進められていた農村公園もほぼ完成し、利用が可能となりました。今回は、この施設の概要を説明致します。

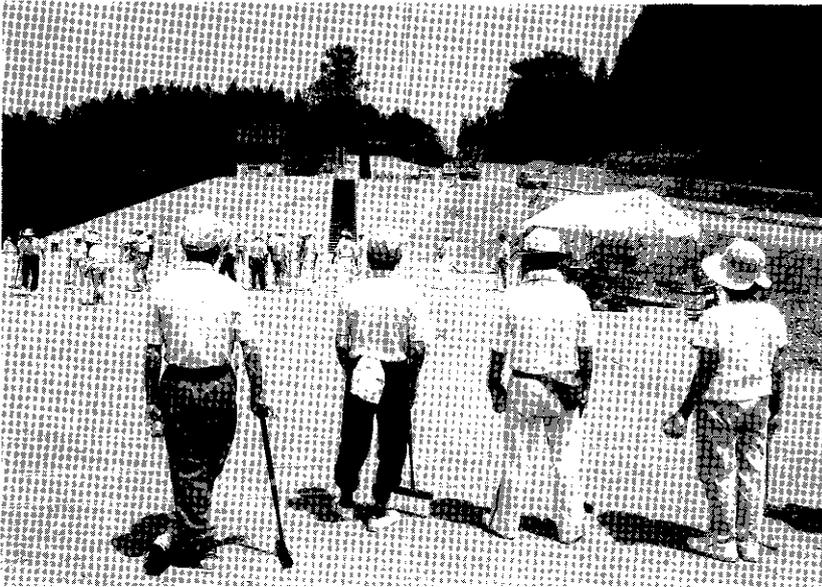
44人宿泊可能

宿泊棟は山間地域総合振興対策モデル事業として、県の補助金一億二千万円を含む、約三億一千三百万円で建設されるもので、来年の夏のオープンを予定しています。

建物は鉄筋コンクリート四階



建て、延べ床面積約千九百五十三平方メートル。二階には、二十九畳敷きと二十一畳敷きの大広間（合



▲運動公園の完成を記念して、ゲートボール大会が7月31日開催された。左上の建物は管理棟。その右側奥にはアスレチックス、展望台がある。

農村公園も完成

昨年から農村基盤総合整備事業など約一億五千万円で建設が進められていた駐車場、周辺道路、農村公園整備もほぼ完了し

併可能)や、食堂(会議室)厨房などが設けられます。三、四階には客室(四人部屋十室、二人部屋二室)が設けられ、四十人の宿泊が可能となります。

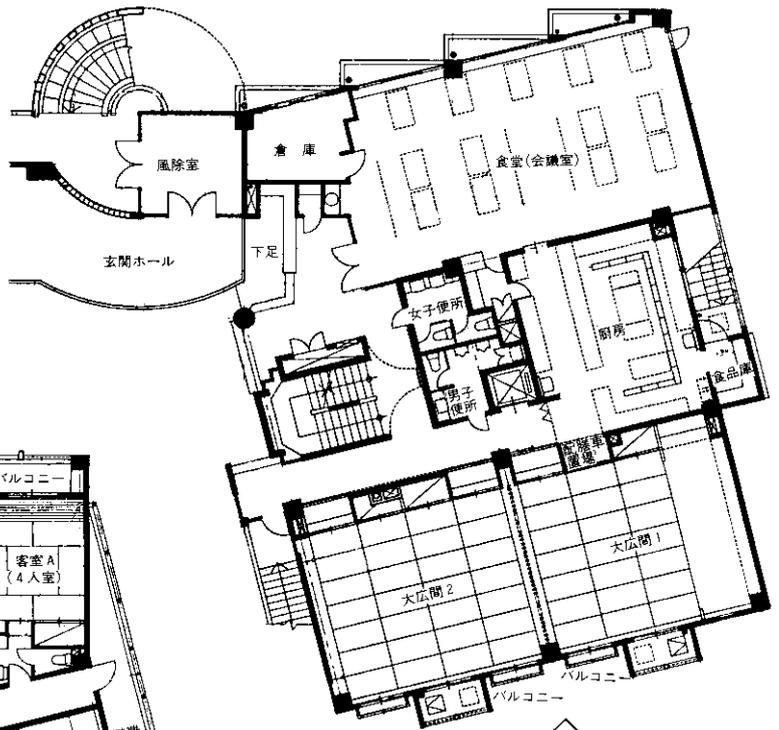
ました。

駐車場は七十台収容可能で、周辺道路も今年度中に舗装も完了する予定です。農村公園には運動広場、ふれあい広場、ちびっこ広場、斜面広場などが造られ、総面積は九千五百平方メートルになっています。

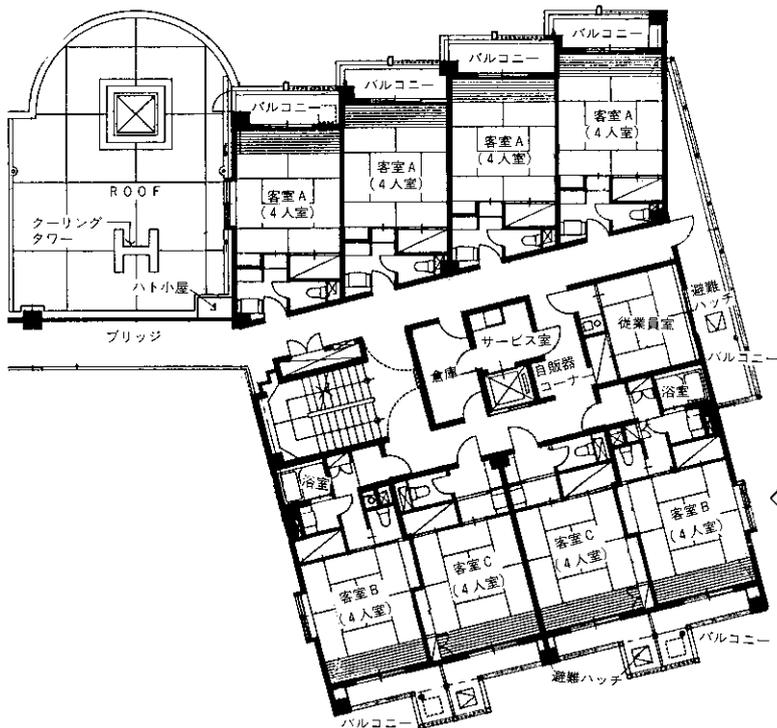
運動広場(千四百五十一平方メートル)には、ゲートボールコート二面を取ることができ、七月三十一日には、完成を記念して十

二チームが参加しての大会も開催されました。ふれあい広場(千九百九十一平方メートル)には管理棟、ちびっこ広場(千二百八十平方メートル)には展望台、遊具が設置されています。斜面広場(二か所合計、九百十六平方メートル)にはアスレチックなどが設置され、同地域は子供からお年寄りまでが楽しめる設計となっています。

来年の夏には宿泊棟も完成し、同地域には観光、都会との交流の核としての期待がより一層寄せられています。



2階平面図



3階平面図

交通事故のない町に

交通安全宣言記念大会開催

激増する交通事故をなくし、明るい松代町を築くことを目的とした「松代町交通安全宣言記念大会」が七月四日、松代中学校体育館で開催されました。この大会は、昭和四十一年に当町が交通安全町を宣言してから二十七周年を迎えることを記念し

て行われたものです。当日は松代小学校、松代中学校の児童・生徒を始め、町民など約八百人が参加し、無事故を誓い合いました。

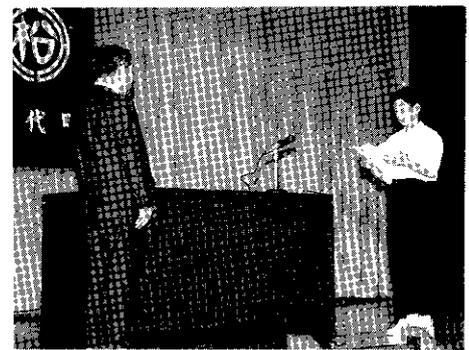
大会では交通事故の犠牲者に対する黙とう後、関谷町長は「道路整備が進むにつれ交通事故

が激増し、昨年は二名、今年も一名の方が亡くなっている。この大会を契機に交通安全に対する認識を新たにし、当町から交通事故を一掃して明るく平和な家庭を築いていただきたい」とあいさつ。また、川原安塚警察署長は祝辞で、「交通ルールを守るだけでなく、相手の行動を予測した運転を心がけていただきたい」と、安全運転を呼びかけていました。

「当町から交通事故を一掃していただきたい」とあいさつする関谷町長

交通安全功労者表彰では小堺和正さん（儀明）、高橋多一郎

さん（苜平）に、また、優秀運転者表彰では佐藤勇吉さん（室野）、布施満男さん（松代）、小堺広治さん（池尻）に、それぞれ25年、20年、15年の代表として、川原署長から表彰状が伝



誓いのことばを提唱する関谷君



誓いのことば

「安全で安定した生活、交通事故のない明るい松代町」これは、わたしたちの心からの願いです。

この願いを実現するため、次のことを実施することを誓います。

- 1 わたくしたちは、家庭、学校、地域で交通安全の話しあいをもち、交通事故をおこさないよう努めます。
- 2 わたくしたちは、老人、幼児、からだの不自由な人を交通事故から守るため、愛の一声をかけあいます。
- 3 わたくしたちは、お互いにゆずりあいの心をもち、交通事故を起こさないよう努めます。
- 4 わたくしたちは、正しい交通ルールを身につけ、いつでも、どこでも実行します。

中学生の関谷成寿君からは、町民を代表して「誓いの言葉」を力強く提唱していただき、最後に県警音楽隊と松中の吹奏楽部による合同演奏や、県警音楽隊による「カマーガード」の演奏が行われ、大会は一段と盛り上がり終了いたしました。

各種大会結果

町内婦人ミニバレーボール大会

7月5日 町総合体育館

優勝 北山ママチーム

二位 パワースチーム

三位 新町チーム



松代町高齢者スポーツ大会

7月17日 町総合体育館

優勝 松代Bチーム

二位 奴奈川チーム

三位 松代Aチーム

四位 山平チーム



消防訓練の妙技を披露

第32回上越消防大会

消防意識の高揚を目的とした「第三十二回上越消防大会」が七月十二日、松代町民グラウンドで開催されました。この大会は、新潟県消防協会上越地区支会の主催により、上越管内二十二市町村の会場持ち回りにより毎年開催されているもので、当

町では初の開催となります。

この日は、国会議員を始めとする米賓、消防関係者及び団員など約千名が参加し、小雨の降りしきるあいにくの天候の中で、部隊訓練や県消防大会操法競技会出場予定チームによるポンプ操法などが披露されました。

当町の団員も、市川嘉吉副団長の指揮による部隊訓練や、県消防大会出場予定の伊沢地区選抜メンバーによる小型ポンプ操法を行い、日頃の訓練の成果を披露していました。また、アトラクションとして犬伏の松芋太鼓が行われ、消防

大会にふさわしい力強い太鼓の音が会場内に響き渡っていました。



ポンプ操法を行う選抜メンバー



入場行進をする団員の皆さん

国際青年の村'92

当町がアウシヨムンリサーチ会場に

世界の青年が集まって交流を深める「国際青年の村'92アクションリサーチin松代」が七月二十七日、二十八日の両日、当町で開催されました。「国際青年の村」は、相互理解と友好の促進を目的としたもので、今年も七月二十四日から一週間、富山県で開催され、世界二十二カ国から約三百人が参加、さまざまイベントが行われました。

中でもアクションリサーチはメイン行事の一つで、参加青年が隣県の青年と交流を深めること

を目的としており、新潟県では地域おこし青年団のリーダー研修などで実績のある当町が選ばれたものです。

今回、当町を訪れたのは二十カ国三十名の外国青年を含む約五十名。二十七日のお昼に到着した一行は昼食後、総合体育館で「元気会」主催による「レクリエーション・オリンピック」に参加し、空き缶釣り・玉入れなどのゲームを楽しみました。よろいかぶとを着ての「戦国武者記念大撮影大会」も行われ、

武者姿に外国青年は大喜び。夜は総合センターで、関谷町長も出席しての「歓迎レセプション」が行われ、参加者は食事や松芋太鼓などのアトラクションを楽しみながら交流を深めました。

一行は早稲田クラブの松芋ドミトリに宿泊。翌二十八日は瀬沼伸彦さん（松代）の指導による「そば作りの体験実習」を行い、手作りそばを味わって帰路に着きました。

▲歓迎レセプションで「ハイ、ポーズ」

▲瀬沼さんの指導で手作りそばを作る参加者



伸びよう伸ばそう青少年

青少年育成活動研究集会

青少年の健やかな成長を願って「青少年育成活動研究集会」が七月十日、生涯学習センター（清水小学校）で開催されました。これは、町青少年育成町民会議と町PTA連絡協議会の主催により、毎年この時期に開催されているものです。

この日は、PTA会員や一般者など八十七人が参加し、最初に上越教育大学教授の南館忠智氏による講演が行われました。

「心のよりどころとなる家庭とは」という演題で、氏自身の子育ての体験を基に「家庭のあり方」についてのお話がありました。

講演終了後は、「①学校五日制に親や家庭はどう対処したらよいか。②基本的な生活習慣を家

庭で、どう指導したらよいか。

③豊かさの中で、子供の耐性をどう育てたらよいか。④自主性をもった子供に育てるには、どうしたらよいか」の、四分科会に別れ話し合いが行われました。

「子育て」という身近なテーマだけに、どの部会でも活発に意見が出されていました。



東京松代会

宮田洋二郎氏講演会開催

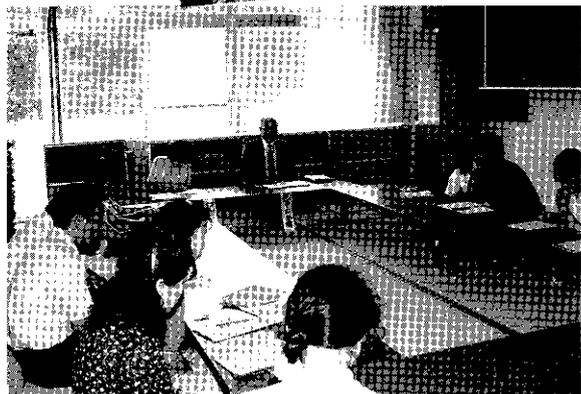
東京松代会主催による「宮田洋二郎氏講演会」が七月二十五日、町総合センターで開催されました。この講演会は、関谷徳次郎会長が以前、宮田氏の講演を聴き大変感激したことから、ぜひ松代町の人にも聴いてもらいたい、と昨年からの準備が進められてきたものです。

講演は一部と二部で構成され、一部では「歴史に学ぶ、日本の進路」という演題で、氏の体験



▲講演をされる南館忠智氏

を通しての「日本人と欧米人の物の見方、考え方の違い」を説明し、今後うまく付き合っていくにはそれを十分認識しなければならぬこと。また、過去の歴史から、国家の大儀・正義を忘れ、私利私欲に走った国が悲惨な運命をたどっている事実を紹介し、日本も、この歴史的教訓から今後の進路を学ばなければならぬことを話されました。二部では「問題解決のための戦



▲分科会では活発な意見が

略的思考とリーダーシップ」という演題で、古今東西の戦史から勝つためには一つの法則があることを説き、これを現代社会に当てはめ「成功のための考え方、人の使い方」について講演されました。

会場には、松寿大学の学生、一般者など約三百名が詰め掛け、太平洋戦争や山本五十六大将の逸話などには、相づちを打ちながら熱心に耳を傾けていました。

生き！生き！
人生のために

生涯学習



▲ 赤沼主事

町公民館に、この4月から勤務されている赤沼派遣社会教育主事により、今月号から「生涯学習シリーズ」がスタートしました。最近、「生涯学習」という言葉を耳にしますが、何か漠然としていて、つかみ所がありません。そんな「生涯学習」の疑問点、必要性などについて分かりやすく説明していただけるものと思います。

今後の掲載テーマは、「今、なぜ生涯学習か！」「日本の生涯学習のあゆみ」「ものの豊かさ、心の豊かさ」などが予定されています。ぜひ、お読みください。

生涯学習シリーズ

No. 7

生涯学習とは？

最近、テレビや新聞で生涯学習という言葉が聞かれます。何となく分かるのですが、はっきりこうだと説明できる人は少ないのではないのでしょうか。これから生涯学習を進めるに当たりこの言葉の意味を考えてみる必要があると思います。

これからしばらく、生涯学習シリーズということで生涯学習に関するについて掲載しますので、読んでいただきたいと思います。

生涯学習は言葉の定義としてはまだ定まっていませんが、一口に言えば生涯のあらゆる段階で自己の意識を啓発し、向上するために努力する営みだといえます。スポーツや趣味、教養はもちろん娯楽や遊びも捕らえ方によっては生涯学習といつかまいません。

生涯学習をもっと広い意味で考えてみるならば、一人ひとりの人生がより充実し、活力にみちた毎日を送るためにあるものなのです。

生涯学習＝たとえば

- スポーツで体を鍛えよう
- 趣味や教養で生きがいを持とう
- 語学、ワープロ…何かを学ぼう
- 仲間を作って何かをしよう（ボランティア、旅行など）
- 発表会や研修会、講演会に参加しよう

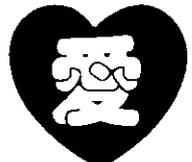
次回は
9月2日

成分献血
のみ

役場前
午前 9:00
午後 4:00

成分献血は、時間指定になります。希望者は国保衛生係までご連絡ください。

小堀 義雄	小島 正隆	高橋 正美	相澤 希	植木 理絵
樋口 恵子	小堀 国栄	本柳 哲也	山賀 優子	松山 恒子
富澤 一子	小松 和夫	山賀 雄次	柳 佐代子	高沢 光利
高橋 芳雄	馬場 博子	久保田雅朋	村松智恵美	仲村 竜太
黒田 廣幸	柳 昌子	南雲 広美	松澤 理恵	笠原 千秋
数井 憲一	山岸 明美	池田 智美	室岡久美子	佐藤あず奈
小堀 定治	岡田 忠男	高橋 実	小堀 智子	若井千奈美
小野島静夫	佐藤 和美	田辺 靖典	相沢千恵美	山岸 浩美
佐藤 文雄	高橋 剛士	若井 正行	中村 妙子	佐藤 靖子
寺崎松太郎	関谷美代子	若井 哲男	高橋 一恵	本間 亮
大野 賢郎	富沢 達司	内山 佳子	小島 博子	高橋 政江
若井 利晴	井上日登美	関谷 仁美	保坂 洋子	浦壁 裕
関谷貴代美	小野 薫	中沢奈美子	飯干 明子	品田 圭子
柳 進	鈴木 利雄	牧田 賢治	小堀 美幸	出村 豊
中村 孝	高沢 房吉	滝沢 彰宏	柳 和広	宮沢真由美
宮沢 新松	小堀 玉枝	山賀早江子	菅井登志子	高橋 圭介
白川 鷹司	中村 公一	関谷 美雪	市川真規子	関口 友由
柳 健一	浜川 一明	中村 香織	米持 英雄	樋口 裕美
菅井 正一	鈴木つゆ子	関谷 司郎	佐藤 徹夫	小湊 知見
市川栄太郎	中村 博子	武江 徹	関谷 博	高橋 久美
佐藤 貞夫	志賀 浩行	猪又 秀俊	室岡 徹	
若月 利信	岸田 勝利	柳 奈緒美	富澤 豊	※太字は400ml 献血者
中澤 淳一	関谷 敏明	山岸 孝	桜沢 薫	
樋口 俊子	南雲 貴弘	牧田 義記	木村 恭一	



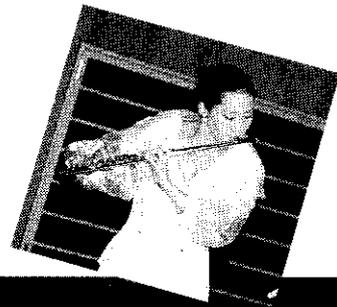
6月20日 役場・総合体育館
献血を
ありがとう

七夕にフルートの音色

工藤雅子コンサート

町内の音楽愛好者の会「山彩」(若井明夫事務局、会員八名)主催による「工藤雅子フルートコンサート」が七月七日、清水小学校体育館において開催されました。会場には、町の内外から約五十名の音楽ファンが訪れ、七夕の夜に流れるフルートの音色に酔いしれました。この音楽会は、生の演奏を聴

く機会の少ない当町の人に生演奏を楽しんでいただきたい、と毎年行われているもので、今年で六回目となります。昨年は「上田晴子ピアノコンサート」も開催されています。「心の豊かさ」が求められる現在、こういった文化的活動を今後も続けていっていただきたいものです。



工藤雅子プロフィール

東京生まれ。13才の時、林りり子氏に才能を見出され、フルートの手ほどきを受ける。フランスマルメゾン市立音楽院を最高優秀賞で卒業。フランス国立サントオメール音楽学校で教鞭をとるかたわら、フランス国立リル管弦楽団のエキストラを務める。1981年のユファム国際コンクールフルート部門1位。現在パリ在住。



▲兌さんの思い出を語り、謝辞を述べる津幡さん



▲除幕後は句会、記念講演が行われた

▲兌さんの思い出を語り、謝辞を述べる津幡さん

石野兌なおい句碑除幕記念俳句会

松泉寺に建立

このほど、蒲生の松泉寺境内に郷土の俳人、故石野兌なおい氏の句碑が建立されました。その除幕を記念して七月四日、「石野兌句碑除幕記念俳句会」が松泉寺において開催されました。句碑は、石野氏の末弟に当たる津幡龍峰さん(蒲生)が、氏の没後三十七回忌を機に建立されたものです。

当日は、町内を始めとして県内外から来賓や俳句の愛好者など約三十名が出席し、まず、句碑の除幕が行われました。その後、記念俳句会や、句会の選者・江見渉先生(俳人協会新潟県副支部長)による「石野兌と初廻はつまいり」と題する記念講演が行われ、参加者は故人をしのぐ思いで、参加者は故人をしのぐ思いで、蒲生・しぶみ・初廻の各句会の有志が発起人となって開催したもので、この日詠まれた句は、文芸欄に掲載されています。

石野兌なおい

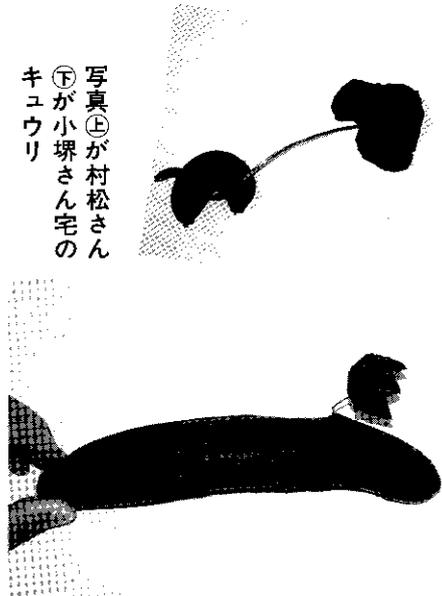
明治39年5月12日、虎蔵・コメの長男として木和田原に生まれる。大正11年高田師範に入学。同校卒業後、短期現役兵として高田師団に入営中、発病。結核と診断される。その後、一家を上げて上京し、療養のかたわら細川加賀氏などに師事して俳句の手ほどきを受ける。昭和31年死去。昭和32年、細川氏などにより遺句集「初廻はつまいり」が発刊され高い評価を得る。

おや!? きゅうりが?

六月末、儀明の小塚平治郎さんからキウリが届けられました。何と! 太く長く立派なキウリの途中から、葉が出ているではありませんか。そんな折、同じ儀明の村松竹一さんからも

「珍しいキウリがある」と連絡があり、早速取材に。栽培されている方によれば、結構あるものだそうです、皆さんのご

家庭ではいかがでしょう?



写真⑤が村松さん
①が小塚さん宅のキウリ

室野地区

自動車練習場完成(早稲田)

オフには町民開放も

昨年(昭和47年)から室野地区(通称、卓生水原)に建設の進められていた早稲田大学の自動車練習場がこのほど完成しました。

この練習場の総工費は約二億五千万円で、総面積は三万五千平方メートル。このうち自動車練習場分の一万八千平方メートルに、直線百八十メートルの道路や、S字、クランクなどの練習施設を備え、一般の自動車学校と同様な練習が可能となっています。また、休憩室とトイレ付きの管理棟や二十

四台収容の駐車場も整備されています。

同大学では、この練習場に大型車二台、普通車六台を配備し、夏休み中の体育授業の集中講義と自動車部の練習に使用する計画でいます。夏休みを除く期間(オフ)については、町民への施設の開放も予定されています。交通安全教室やイベントなどへの利用も期待されるところです。



完成した自動車練習場 右側の建物が管理棟

上越地区スポーツフェスティバル

『太平友の会A』優勝

ペタンク競技

スポーツの普及と振興を目的とした、第4回上越地区スポーツフェスティバル「ペタンク競技の部」で、太平友の会A(柳和家、柳繁治、相沢こずえ)が優勝しました。

この競技は、七月十二日に新井市ペタンクコートで二十五チームが参加して行われ、太平友の会からはA(柳)の他、B(高橋庄一郎、富沢一郎、富沢忠子)、C(富沢達司、関谷正

次(斎藤充代)の三チームが参加し、Bも三位入賞を果たしました。ペタンクの用具は、昨年の同会が受賞した「スミセイ健康財団賞」の副賞としていただいたもので、今年の春からこの大会を目指し練習し、今回の優勝となったものです。

柳和家さんは、「間違っても優勝してしまつた、という感じでした。大会に出て大変勉強になりました。これを機会に、ペタンクが町内に普及してくれば」と、喜びを語っていました。

※ペタンク

フランス生まれの小粋な軽スポーツ。手軽に誰でも楽しめる場所も取らず、用具も(極端にいえば)代用で済まされ、体力も必要なく、まさに中高年にピッタリ。木製の小さな目標球目掛け、金属製、重量七百グラム平均のボールを投げ合い、距離の近さを競う、実に単純明快なスポーツ。この単純さが、かえってフランスでは受けている。



▶ 太平友の会の選手の皆様

松代剣道チーム特別賞受賞

県警察少年剣道大会

少年の健全育成を目指す「第五回新潟県警察少年剣道大会」が七月十九日、新潟市烏屋野総合体育館で開催され、安塚署代表として松代剣道チームが出場しました。当日は、岡部防犯少年課長、山川部長他、父兄の皆さんの声援を受け優勝候補筆頭の新潟東署代表チームと対戦しましたが、健斗及ばず残念ながら一回戦で敗退しました。

しかし、試合終了後審判長より「打つべき機会にしっかり打っているし、基本もよくできて

いる。また、立派な指導者の下で練習しているが、ただ残念な事に練習量が不足であり、練習量を増せば更に立派な成果が期待できる」と、激励助言を受けた程の健斗ぶりが高く評価され、松代チームは、試合態度も良く礼儀作法も立派であるチームに贈られる特別賞受賞の榮譽に輝く事ができました。

この榮譽を胸に、今後益々活躍するものと期待しています。



- 小学生
 - 茂野 収 大野友斉
 - 菅井史郎 松山恭平
- 中学生
 - 関谷 悟 柳 和宏

献血功労賞

齊木さん米持さんに



関谷町長から楯等が
伝達されるさんと米持さん

このほど、齊木勉さん(松代)、米持英雄さん(室野)に、日本赤十字社から献血功労賞が贈られました。

齊木さんには、献血百回を賞して銀色功労楯が、米持さんには、三十回を賞して銀色有功章が贈られました。

今後、献血へのご協力をお願い致します。

競技方法

登録された1チーム10名以内の選手が順次交代しながら自チームのタスキを決められた区域内でリレーしつづけ、それぞれのチームが約2.1kmの周回コースを24時間で何周できるかを競うものです。

表彰

完走証、参加賞他

申込期限 9月3日(必着)

申込場所

松代町総合体育館内
ロ・マン24inまつだい
「24時間耐久リレーマラソン」
事務局宛 ☎02559(7)3752

日時

10月3日(土)午前11時
～
4日(日)午前11時

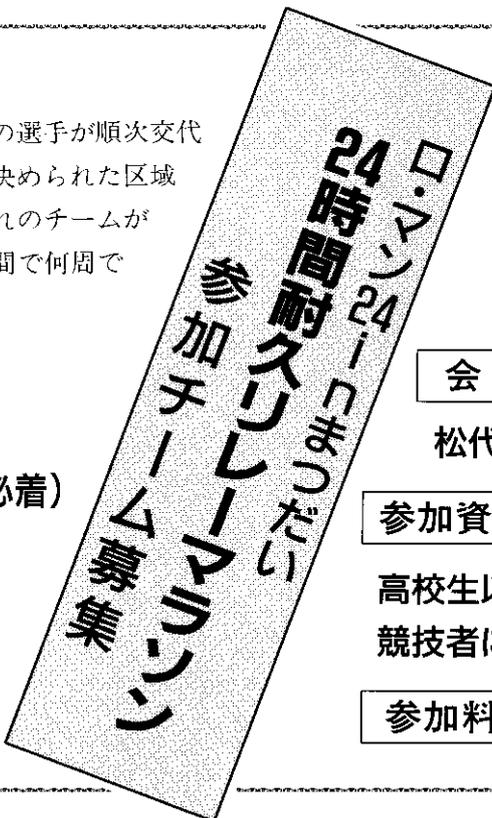
会場

松代町クロスカントリーコース

参加資格

高校生以上の一般アマチュア競技者に限る。(男女不問)

参加料 10,000円(1チーム)



小貫ここにあり

「小貫閉村之碑」建立

このほど、小貫に「小貫閉村之碑」が建立されました。

この碑は、元小貫部落住民で現在東京都福井市に在住の小山直治さんが、「小貫の名を永遠に残したい」と、同家の旧屋敷跡に建立されたものです。

表には、以前小貫にあった十八戸の屋号が刻まれています。裏には、「小貫は開村以来四百年。私共の祖先は原野の此の地に庵を建て殖拓に汗を流し小貫

村を創立し発展に努力された。戦後所得倍増論国策に共鳴され村を離れる人後を断たず遂に昭和六

十三年秋に閉村と成った。依って石碑を建て長く十八戸の屋号を残します」と、刻まれています。

この碑の建立により、小貫の部落名と、十八戸の屋号が永遠に残ることになりました。



▲一族で石碑と記念写真
石碑左横が小山直治さん

県少年空手道選手権大会

柳敏仁くん 2位に入賞

県内の小・中学生約五百名が参加して行われた「第八回新潟県少年空手道選手権大会」（七月五日、柏崎市）で、孟地小学校六年の柳敏仁君（孟地）が、「小学校高学年型の部」で二位に入賞しました。

柳君は小学二年生から空手を始め、現在も総合体育館で週二

回開かれている空手教室に通っています。

今年も、この大会でベスト8に入り、少しでも有名になることが目標だったそうですが、正に目標達成の大活躍をされました。今後も練習に励んで、頑張ってください。

観音祭りから

まちかげ
メッへ

このコーナーの写真は差し上げますので、広報係までお申し出ください。皆さんの撮った家族等の写真も掲載しますので、お気軽にお寄せください。





トンネル内で タイムスリップ



(東京都北区在住
会沢こじまや)

萬羽 洋子 ひろこ

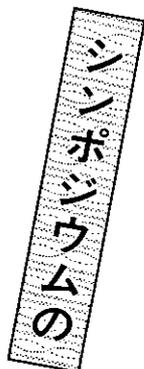
トンネルを出ると雪国だった。これは有名な小説、雪国の書出しの文章ですが、あの長い関越トンネルを越える度に実感するのは、私だけではないと思います。私にとっては、あの長いトンネルが現在と過去とを分ける境界となっているのです。幾度となく潜った長い長いトンネル……。昨年のやぶこぎきの会に参加した時は、五月三日だというのにトンネルを出ると、辺り一面真っ白な雪景色で思わず歓声をあげました。思わぬプ

レゼントに山菜採りの心配をよそに一同喜んだものでした。やぶこぎきの会の山菜採りツアーにも、今年で三回目の参加になります。会の皆さんの温かい心の込められた手料理での宴会や、歓迎の踊り、山菜採りのポイント、それに芝峠温泉ピレツジ峰のあふれる湯につかり、懐かしい村の人たちと時のたつのを忘れ話し込んでしまいます。今年の五月二十三日、二十四日の松代会ふるさと旅行にも、主人と二人で参加致しましたが、

ふるさとを出てから三十年ぶりの懐しい方々に会えて、健康を確かめ合えた事は何よりの心暖まる思い出となりました。小学校の校舎は変わっていても、学舎を囲む山々は昔のまま、小さい草花一つを見ても小学生だったころの数々の思い出とつながり、懐しいの一言につきます。関越道が完成し、ふるさと松代がぐーんと近くなったのもここ二、三年です。春には日帰りで山菜を採り、芝峠温泉でお湯につかり、楽しむ事が出来るようになりました。関越トンネルを潜りぬけたとたんに、子供のころの懐しい思い出の中に帰る事が出来ます。空気も景色も、すべてがセピア色の思い出の中の一コマとなっ てしまいます。トンネルに入り、出るまでの時間にタイムスリップをして、出たとたんに子供の時分の空気と景色に包まれるあの一瞬が、今の私の一番の楽しみとなつていのです。

東京松代会の皆さんへ

東京松代会



ご案内

東京松代会では、郷里の「元気会」の皆さんを交えた「ふるさと有志とのシンポジウム」と、懇親会を左記のように計画しております。

お誘い合せのうえ、多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

1 日 時 平成4年8月29日(土)

シンポジウム 12:00~2:30

懇親会(会費4000円) 2:30~4:00

2 ところ 東京都 新宿モノリス29(29階)

東京都新宿区2-3-1

TEL 03-5381-9229

3 テーマ 「故郷松代町を考え、

東京松代会の役割を探る」

4 参加申込み先

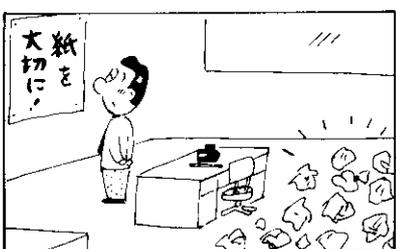
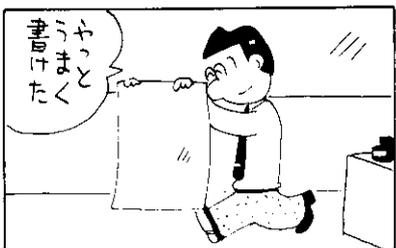
東京松代会 広報担当 若井謙一まで

TEL 03-3718-1021

※/切 8月25日 お早めにお申し込み下さい。

君かわが

西村 宗



石野 兌 (なおい)

句碑除幕記念 俳句会

七月四日於蒲生 松泉寺

選者吟 江 見 涉

七月は眩しさばかり兌の碑

夏蝶や兌の坂の加賀夫人

山蟻が道浄めをり兌の碑

蟬時雨しんと句碑すわりけり
柏崎 鳴川

いとやさし梅雨の短冊挿しけり

塩沢 好子

水口に座して鎌研ぐ風涼し

上越 朴雪

兌句碑七月の陽も句に没む

松口 樺山

兌句碑覆う芽杉の馨しや

観音寺 三二

緑蔭につつまれ兌句碑除幕

小谷 俊一

一念の句が刻まれて栗句う

橋詰 悦夫

梅雨の陽や碑文の影を深くせり

室野 淡水

梅雨空や句碑守る姉弟居たるなり

室野 紅茶

句碑披く茂りより祝ぐ鳥も居て

室野 枯水

直筆の兌の軸の夏座敷

室野 公鳴

触れてみる万緑光る兌句碑

室野 六花

野佛の裾に草藤すがり咲く

蒲生 耕山

初蟬の大寺と竝ぶ兌の碑

田野倉 翺山

門前に居並ぶ地蔵苔の花

田野倉 泥水

踏まれてもなお盛りたる苔の花

蒲生 折人

句碑除幕古寺の僧夏衣

蒲生 爽風

句碑を訪う梅雨の蝶にも度みて

蒲生 龍峰

短歌 北の大地

富澤和風

果てしなく咲き揃いたる馬鈴薯
の花の香匂う北の大地は

時計台ビルの谷間につつましく
歴史を刻むかすかなる音

洞爺湖の青き水面に影写すエゾ
鹿群るの大鳥が見ゆ

庭の草木

ヤブカンゾウ(ユリ科)

原産地は中国で全国に分布している。

夏、高さ一メートルほどの花茎に、黄赤色の八重咲きの花をつける。



種子ができず、根で繁殖する。

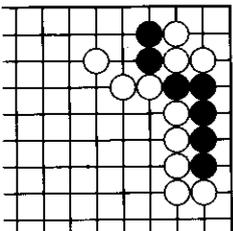
ニッコウキスゲやノカンゾウの仲間だが、花が八重咲きになるのはヤブカンゾウだけで、これが他種との区別点である。

種子のできない訳は、雄しべそのものが不完全で花弁化しているからである。

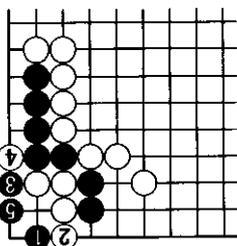
詰碁

出題 十段 武宮正樹

● 黒先生き・5手まで
● ヒント：隅の死活の格言で攻める。
3分で2級、1分以内で有段者。



● 黒先生き・5手まで
● ヒント：隅の死活の格言で攻める。
3分で2級、1分以内で有段者。



有段を目指して

夏の火災予防運動

8月11日(火)～20日(木)

夏休み・お盆を迎え帰省客、避暑観光客等で人口が急激に増加し、火気を取り扱う機会が多くなります。

暑さの為、人々の行動も怠慢になりがちです。その為、火災の多発が予想されますので、火災の防止に一段の注意をお願いします。

※ 火の用心・6つのポイント

1. 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
2. 子供は、マッチやライターで遊ばない。
3. 風の強いときは、焚火をしない。
4. テンプラを揚げるときは、その場をはなれない。
5. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6. 風呂の空だきをしない。

◎平成4年火災件数

(7月20日現在)

上越消防管内33件(昨年より15件減)

松代町3件(出火消止め1件含む)

昨年より2件増となっています。

火の用心・火の用心

いい息さわやか教室開催

「肺機能障害者呼吸教室」

1. 開催日時・主な内容

- 第1回 平成4年9月8日(火)
開講式、専門医師による講話
- 第2回 平成4年9月17日(木)
肺機能検査、体操
- 第3回 平成4年10月7日(水)
体操、話し合い、閉講式

2. 開催場所

上越保健所会議室

3. 対象者

肺気腫、気管支喘息、気管支拡張症等で息切れ、せき、たん等の症状のある者
胸部形成、肺切除、肺結核後遺症のある者(治療中の人は主治医の許可のある人)

4. 問い合わせ先

上越保健所 医薬子防課
電話0255-24-6133(代表)

無料法務総合相談所開設

近隣のいやがらせ、家庭内のもめごと、名誉・信用の侵害等の人権問題、その他、離婚、相続、土地、戸籍の問題などで困りの方の相談に応じます。

秘密は守られますので、お気軽においでください。

とき 8月31日(月)

午前10時から午後3時まで

ところ 松代町総合センター

9月9日 救急の日

救急車を呼ぶときの3つのポイント

1. 救急事故などの発生場所、近くの目標。
2. どのようなケガか、病気が。
3. ケガ人や病人の現在の容態。

正しく
あわてず
119番



みらんちゃん
よく見てねっ!!



金沢友里ちゃん
4歳
室野 駐在所



山岸晋一くん
5歳
片桐山 うら



佐藤美保ちゃん
5歳
千年 さんまいだ

海上保安学生募集

1. 受付期間

9月3日(木)～9月16日(木)まで

2. 受験資格

昭和44年4月2日(大学校生は昭和46年4月2日)以降に生まれた方で、高等学校(高等専門学校)を卒業した方及び、来年3月卒業見込みの方

3. 採用予定数

- 大学校学生 約50名
- 学校学生
船舶運航システム 約85名
情報システム 約50名
海洋科学 約15名

4. 給与が支給される

5. 問い合わせ先

直江津航路標識事務所
☎0255(43)4210

お知らせ

県の行政機関は8月から
すべての土曜日が
休みとなります

県では8月1日から完全週休二日制を実施します。これにより、県の本庁及び大半の出先機関は、土曜日にも日曜日と同様業務を休ませて頂くこととなります。皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

旅券窓口も平日のみの受付となりますのでご注意ください。旅券申請手続きの問い合わせについて、テレホンサービスを開始しますので御利用ください。電話番号は025-283-1050です。

なお、県立病院は、第1土曜日と第3土曜日の外来は休診となっておりますが、これ以外の土曜日は内科等の新患の方の診療を行っています。

国民健康保険に ご加入の皆さんへ

国保の保険証が更新されます



◎9月1日から国民健康保険の保険証と退職者制度の保険証が「もも色」にかわります。今までの「みず色」の保険証は、8月31日かぎりで使用できませんのでご注意ください。

- 交通事故などで受診される場合は、病院の窓口、役場の国保の窓口へ出てください。
- 転出・社会保険加入の際は、保険証を早めにお返してください。
- 受診の際は必ず保険証を窓口にて提示してください。

お願い

※新しい保険証は八月下旬に、役場から区長さんにお届けいたしますので古い保険証と引き換えてください。

新潟県職員受験案内

1. 職 種 上級 助産婦
中級 看護婦
2. 日 時 平成4年9月27日(日)
午前8時30分から

3. 場 所

新潟県庁 西回廊
講堂及び大会議室
(新潟市新光町4番地1)

4. 受付期間

平成4年7月24日から
9月3日(木)まで

特別養護「不老閣」職員募集案内

松之山町役場内 東頸福社会
TEL 02559(6)3131 内線56

1. 応募できる人の居住範囲

東頸城郡松之山町、松代町、大島村、浦川原村、安塚町、牧村及び中魚沼郡津南町、中里村のいずれかに住所、または本籍を有し、かつ通勤な人に限ります。

2. 履歴書の受付期間

平成4年7月15日(木)から8月20日(木)まで。
郵送の場合は、8月20日までの消印のあるものを有効。

3. 応募の方法

- ① 市販の履歴書に記入のうえ、社会福祉法人東頸福社会へ提出してください。履歴書は不備のないようご注意ください。
- ② 履歴書を郵送する場合は、封筒の表に「履歴書在中」と朱書してください。
- ③ 履歴書の本人希望欄に、希望職種を明記してください。

4. 採用選考日

第一次選考(書類) 9月上旬
第二次選考(面接) 9月中旬

職 種	採用予定数		年 齢 (H5.4.1)
	正規	パート	
事 務 員	2名		18~50歳
生活指導員	1名	1名	18~50歳
看 護 婦	2名	1名	18~50歳
寮 父 母	16名程度	1名	18~50歳
栄 養 士	若干名		18~50歳
調 理 員	4名程度	1名	18~50歳
運 転 手	若干名	1名	18~50歳
雑 務 員		1名	18~60歳
宿 日 直 行 員		2名	18~60歳

ひと

早！13年

石田 伸夫さん（葦島）



松代に来て早十三年。生活環境に慣れるのにいろいろ体験してきた。青年会活動による運動会、盆踊り、秋祭り、青年会交流による祭りなどの出演、消防訓練。地域活動でのバレーボール、野球。これらに参加し、得たものはたくさんの人たちに出会えたことだった。すぐに溶け込めたのは、やはりこの土地ならではの、人の温かさではないかと思う。

春は出植え、山菜採り。夏は祭り。秋は紅葉。冬は雪。こんな四季おりおりの環境の中での生活、心がどれだけ安らぐか！

。緑ある自然と空気のすばらしさ。こんな土地にいたことが大いなる喜びじゃないかと思う。変わって欲しくないもの、変えて行こうとするもの。私は今、それが心配だ。安らぐ場所は、だれもが欲しいもの。「ここは変わってないね」「そういえば、ここでよく遊んだね。ケンカしたね。」そんな事が言える様、「自然がつくり上げた場所。そして人々が次世代に残そうとするもの」は、いつまでも、いつまでも残ってほしい。便利社会と言われている世の中、不便でも良いこと、便利でも良いこと。これからは、一つ一つ良く考えて、次世代のためにやってみたいと思っています。

最後に、この町に来て知り合えた人たちへ「ありがとう」「そしてこれからも「よろしく」

編集後記

▼今月号のキユウりの話題は、儀明の小堺さんと村松さんから。小貫の閉村の碑の話題は、蒲生の柳永八さんからいただきました。ありがとうございました。今後も話題の提供、よろしくお願いします。

▼東京松代会「ふるさと訪問旅行」の会報（編集後記）で、広報まっぴのレイアウトが、おほめの言葉をいただきました。この係をしていると、「日曜日がつぶれる」「締め切りに追われる」といった悩みもありますが、実は一番苦労しているのがレイアウトです。現在は、レイアウトが重要視されていますが、計算のように「これが正解」ということがありません。毎月毎月「あーでもない、こーでもない」と頭を悩ますことになりました。まあ、センスがあれば苦労しないで済むことですが……。それはともかく、読みやすい誌面作りを進めたいと思いますので、アドバイスよろしく願います。

男	2,513人	(+5人)
女	2,569人	(+6人)
計	5,082人	(+11人)
世帯数	1,520世帯	(-1世帯)
出生	2人	死亡 4人
転入	17人	転出 4人
(4年7月末日現在)		
人口の動き		

戸籍の窓口

(6月26日～7月25日受付)

幸せ多い人生を（結婚）

鈴木幸春・須藤智子さん
(松代・石田屋)
仲村廣一・勝又ゆき子さん
(儀明・さんぜん)

げんきな良い子に（出生）

松山光一ちゃん 邦夫・百合子さん
(長男・犬伏・まつのや)
齋藤悠太ちゃん 政志・明子さん
(長男・松代・釜田住宅)
市川史織ちゃん 正雄・洋子さん
(2女・田沢・与右エ門)

ご冥福を祈ります（死亡）

若月新平さん 53歳
(海老・とどしき)
山岸正直さん 82歳
(蒲生・糺屋)
小堺藤吉さん 78歳
(蒲生・宮喜屋)
関谷センさん 90歳
(菅刈・巾)
高橋キヨさん 78歳
(松代・松文屋)

ことわざ

*相手変われど主変わらず

いれかわりたちかわり相手が変わっても、迎える者はいつでも同じということ。